

「真の癒しとは支え合いである」 リラクゼーションを通じて 温かな社会づくりをめざす

アンピール



自由が丘駅から徒歩5分、サロンアンピールの外観

旅館や舞浜リゾートホテルでの、疲れを癒す目的の活動。③関連会社と提携したセラピスト教育。現場のトップセラピストである鈴木きよみ氏は、足裏ゾーンセラピーの書籍を

アンピール(目黒区自由が丘、鈴木雅晴社長、03・5701・1929)は、「お客様の満足度を高めたい」という経営理念のもとリラクゼーションサロンの経営を行っている。平成3年自由が丘で創業してから今日までに、東京・神奈川を中心にアンピールグループ

で13店舗展開し、従業員一人ひとりがより質の高いサービスを提供するため、「本物の癒しは、物資的なものではなく人と人との支え合いの中で育まれていくもの、施術を通してお客様の生涯に関わり、本物の美容や健康の歓びを提供し続ける企業でありたい」と、日々邁進している。

同社の事業内容は大きく3部門に分類される。①サロン経営および派生商品の企画販売。足裏ゾーンセラピーの先駆的存在であり、美を追求するサロン経営に加え、化粧品やアロマといったリラクゼーショングッズの販売を行う。②観光地でのリラクゼーションサロンの運営。箱根の温泉

10冊以上執筆している業界の第一人者である。そのきよみ氏が代表を務める「癒しと温かな手の学校」では、新人社員の教育から独立志望の方向けのクラスまで多岐にわたって専門的な教育を行い、従業員のサービスの質向上にもつながっている。

「リラクゼーションは、資格も目に見える商品もない。また、特別な商品も使っていない当社が他社に負けないサービスをご提供するのために、施術される目の前のお客様と真摯に向き合い、お客様に満足していただくことだけを考えている」と、鈴木社長は語る。



【施術例】足裏トリートメント